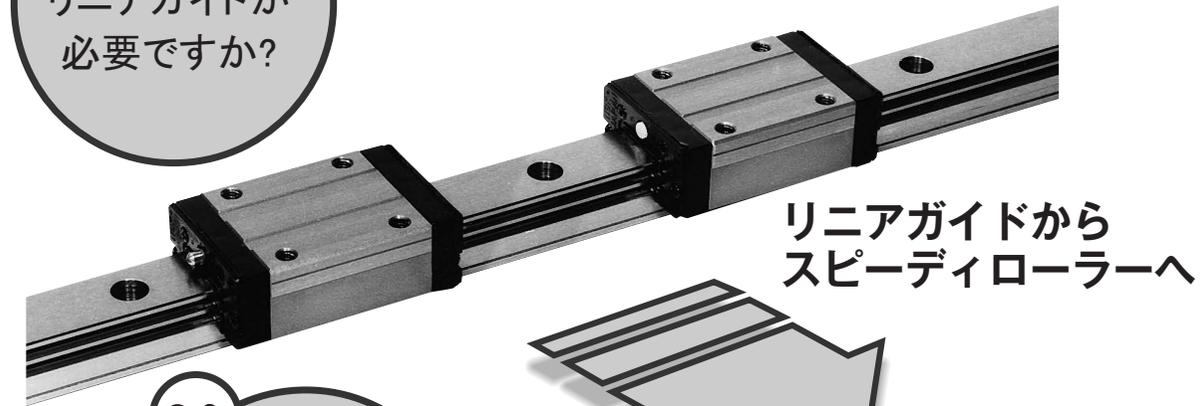
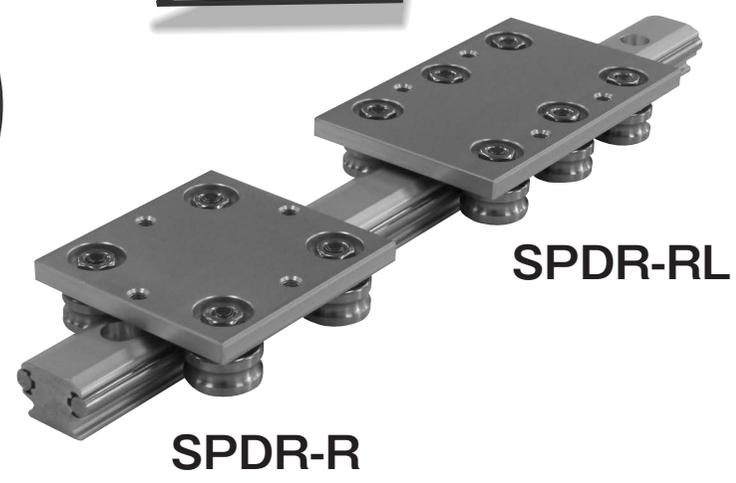


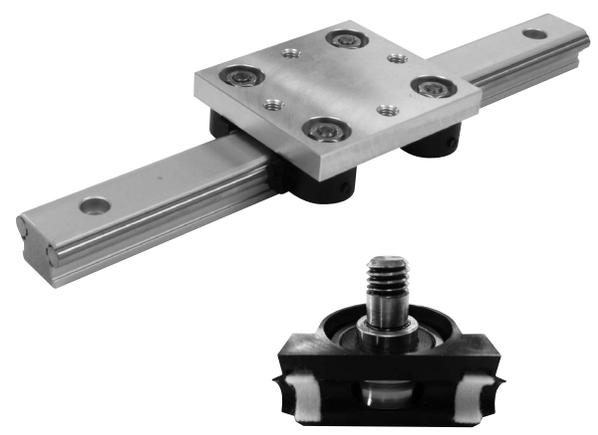
Q.1  
本当に  
リニアガイドが  
必要ですか？



Q.2  
スピーディローラーに  
変えて  
みませんか？



トラックローラー単体発売!!



\* 同芯軸と偏芯軸の組合せにより、簡単にスキマ調整できる。

**種類** **QZAK**

■SPDR-R：(スピーディローラー)  
キャリッジとレールがセットで納入される、最も一般的なシリーズで、サイズは20, 25, 30, 43の4種類で、キャリッジは標準長さと同サイズが各サイズごとにあり(20は標準長さ)、レールの最大長さは20は2mを、25, 30, 43は共に4mを標準在庫にしております。

■TR, TR-E：(トラックローラー)  
トラックローラーには、同芯軸と偏芯軸があり、キャリッジプレートを、お客様が自在に設計、製作される場合、各々併用して組付ける事により、スキマの無いスムーズな走行性能を得ることができます。

**精度規格** **QZAK**

SPDR-Rシリーズの垂直方向走り精度1)、水平方向走り精度2) は図46に示す通りです。

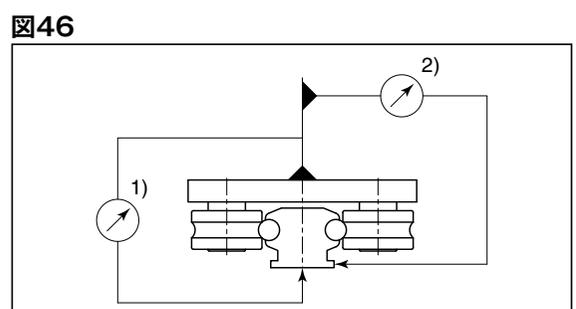


表45

最高速度	10m/sec
真直度	0.05mm/1m
適応温度	-20°C~80°C
最大レール長さ	20 : max2m 25, 30, 43 : max4m

**寿命** **QZAK**

$$L_{10} = \left( \frac{C}{f_s \cdot P} \right)^3 \cdot 50 \text{ (km)} \quad \text{式9}$$

$L_{10}$  : 定格走行寿命 km  
 $C$  : 基本動定格荷重 N  
 $P$  : 作用動等価荷重 N  
 $f_s$  : 衝撃, 振動, 速度係数 表46参照

表46：衝撃, 振動, 速度係数

運転状況	$f_s$
衝撃や振動が無い場合で 往復速度V=300mm/sec以下	1~1.5
軽い衝撃や振動がある場合で 往復速度V=1000mm/sec以下	1.5~2.0
かなり大きい衝撃や振動がある場合で 往復速度V=1000mm/sec以上	2.0~4.0